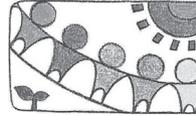


育成かながわ



◆発行責任者

神奈川県手をつなぐ育成会

会長 植松 みさご

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2

TEL:045-323-1106 FAX:045-324-0426

E-mail ijkanagawa_k@yahoo.co.jp

URL <https://ikusei-kanagawa.jp/>

～こんな時だからこそ、つながっていたい～ コロナ禍における“オンライン”



思い返せば昨年4月、県では「緊急事態宣言」が発令され私たちの生活が大きく変わりました。宣言が解除されてからも日々の感染者数に翻弄され、やがて第2波第3波へと続き、今冬は爆発的な感染により2度目の宣言が発令されました。いつになったら落ち着いた生活を取り戻すことができるのか不安な気持ちを抱えたまま、私たちは明日を生きていくためにできるだけ努力をしながら日々過ごしています。新しい生活様式において、マスクの着用・手洗いうがいの励行・毎日の検温など個々で取り組みながら、3密を避け人との接触を減らすように心がけなくてはなりません。その流れから、離れた場所においても会話をし情報を入手できる「オンライン」という形態が注目されるようになりました。オンラインの利用は、感染のリスクを無くすだけでなく他にも様々な効果を生み出しています。今回は、私たちとこのオンラインとの関わりについてまとめてみました。

1. 当事者・家族向けアンケート結果より

新しい生活様式の実践がすすめられる中、発達障害児者がどのような困りや生活の変化等を感じているのかを知るため、昨年の7～8月に発達障害情報・支援センター（国立障がい者リハビリテーションセンター内）が当事者・家族向けのアンケートを実施しました。その中で「新しい生活様式が始まって良かったこと・楽になったこと」として次のような意見が多く書かれていました。

（一例）

- ◆オンラインでの動画視聴では聞き逃したり理解しにくい部分を繰り返し視聴でき、理解しやすくなった。／リモート授業のおかげで周りの人の言動に気を散らされることなく好きな姿勢で授業を受けられることを喜んでいる。（当事者）
- ◆パソコンを活用した社会との繋がりや余暇が増えるといいと思う。／視覚情報が増え、オンラインで出来ることも増えたので今後もこの状態を続けて欲しい。（家族）

必要に迫られて始めたオンラインの導入でしたが、当事者や家族からするとメリットが多く有効的であり、オンライン化が広がる事への期待が感じられたようです。

2. 学校・事業所とのやり取りや情報収集のために

休校中の昨年5月、テレビ神奈川では「テレビホームルーム」を放映、県下全ての特別支援学校が紹介され、子どもたちもお世話になっている先生方を見ることができ安心感へと繋がりました。現在もインターネットの動画配信で視聴できるようになっています。



「育成かながわ」は、共同募金配分金により発行しています。

また、ある放課後等デイサービス事業所では在宅支援としてオンラインで対面しながら療育を行ったケースや、ある入所施設ではオンラインでの面会（ビデオ通話）を行ったケース等が報告されています。今後このような形態でのサービスは増えていくものと考えられます。

3. 使えるようになるととても便利！（家で過ごす時間が長くなった時など…）

前号（109号）の記事「新型コロナウイルスにおけるアンケート結果」の中で「リモートで自宅にいるため本人も家族も疲弊してしまった」との意見がありました。もしインターネットが使える環境であれば、本人の興味に応じて楽しめるwebサイトを上手に利用して、ストレスの軽減や充実した余暇を過ごすことができます。

また、県では「障害者IT（情報技術）利活用推進事業」を行っています。ここではIT機器の使い方を相談したり、専用のホームページ『[かながわ障害者IT支援ネットワーク](#)』で検索すると、障害者におすすめのアプリ一覧も見ることができます。役立つ情報がたくさんありますので是非ご覧ください。

4. 県育成会主催「オンラインセミナー」（子供の未来を考える親の勉強会）の報告

昨年10月に（株）ジェイアイシーより生命保険信託に関するセミナーの話があり、ちょうどよい機会とのことで初めてのオンラインセミナーを開催することとなりました。この案内については10月・11月の理事会にて説明、またセミナーのチラシを各支部へ配布しました。開催は11月20日（金）と21日（土）の2日間、約1時間の内容でした。その後、視聴した人数の報告を受けたところ、全体では2日間で合計70名の参加でしたが、育成会会員としての参加は合計29名だったということでした。この数字については、オンラインセミナー参加者数としては少ないとのことでした。

そこで、今回セミナーに参加された方にはオンラインについての感想を、不参加の方には参加しなかった理由をそれぞれ複数の方に聞いてみました。

【参加された方】 端末はパソコンが多かったようですが、中にはスマホやタブレットの方もいました。ほとんどの方が「操作は簡単だった」「オンラインは便利なので積極的に取り入れて欲しい」とのことでした。またセミナーの内容も「良く理解できた」「時間もちょうど良かった」と、とても効果的に視聴できたようです。

【不参加の方】 共通していたことは「スマホやパソコンは持っているが操作ができなかった」とのことでした。やり方がわかれば参加したかったという方が多かったようです。また中には時間が合わず都合がつかなかった方もいました。

現時点での個々の会員事情からすると今回の研修はややハードルが高かったようでした。

5. 今後に向けて

2月の理事会は初めてオンラインで行いました。また、4月の総会は代議員の方についてはオンラインでご参加いただくことになっています。まだ続くであろうコロナ禍において、会議や研修会の回数を出来るだけ減らさない為には今後もオンラインに頼らざるを得ません。これからも多くの皆様に参加していただける方法を検討していきたいと思っております。オンラインができる環境を整えるまでには時間はかかるかもしれませんが、このような時代だからこそ仲間と繋がっていただける“手段”を手に入れたいものです。皆さまからのご意見もお待ちしております。

2回目のブロック会議を開催 地域の課題をブロック内で共有し活動が活発化！

9月に初めてのブロック会議を開催したところ、各理事からは近隣支部と交流ができて良かったと好評でした。今回は12月に全ブロックで開催することができました。ブロック会議は理事だけでなく支部の中から誰でも参加できることも魅力のひとつです。

湘南西部・東部は講師を迎え研修会を開催し、活気に溢れていました。中でも、湘南西部の研修会参加者の抱えている通学に関する悩みは私たちの長い間の課題です。県育成会としてもアンケート調査を実施し、県・地域の要望へと繋げていきます。

来年度はブロック会議の回数を増やし更に地域の交流・活性化を推進していきたいと思っておりますのでこれからも皆さんの参加をお待ちしています！

【湘南西部】 <平塚・大磯・二宮>

又村あおい氏を講師にお迎えし、「高校卒業後の生活と課題」をテーマに話をいただきました。前回ブロック会議に参加した学齢期のお子さんを持つメンバーが中心になり開催に向けオンライン会議を重ねてきました。

研修会ではそもそも福祉サービスって何があるのか？など4つの課題（1.子ども向けと卒業後の福祉サービスの違い 2.子どもが独立した後のお金の話 3.成年後見制度について 4.手をつなぐ育成会の活動紹介と参加者の意見交換）をわかりやすく、かつ理想と現実を話してくださいました。参加者17名の内、12名は会員以外の幼稚園から高校生のお子さんのいる方々でしたが、皆さんテーマへの関心は高く、意見交換では通学やサービスの利用での悩みなど心を開いてお話する姿は印象的でした。

今回目の前で困っている課題と先々の不安を共有することで実のある活動ができたことに感謝し、子どもたちにとって安心安全な社会になるお手伝いが少しでもできるようブロック内で情報交換ができる形を繋いで行きたいと思っております。

（二宮支部 遠藤 安芸子）



【湘南東部】 <藤沢・寒川・茅ヶ崎>

12月4日、藤沢市社協地域福祉活動センターにて開催。参加者は会員10名。講師に社会福祉法人藤沢育成会理事長石川様、同法人の波多江様、社会福祉法人翔の会の松永様をお招きして、「重度知的障がい者のグループホームについて」というテーマでお話を伺いました。

重度知的障がい者のためのグループホームがなぜできないのか？という疑問に対して、湘南地区での土地や建物にかかる費用、常勤支援員さん看護師さんの配置の困難さ、居宅介護支援をグループホームに入れる際の単価減、等々の問題点を具体的に率直に話して頂きました。

また、年齢が高くなるにつれ新しい環境への適応能力が格段に落ちてくるので、出来るだけ若いうちに宿泊の体験をしていくことが望ましい、その中でどのような支援が必要なのかを明確にしていく事も大切である、という助言も頂きました。

関心度の高いテーマにもかかわらず、新型コロナウイルス感染予防のため多人数での開催ができなかったことが残念でした。

（藤沢支部 児玉 拓子）

【県西】 <小田原・南足柄・足柄上・箱根・真鶴>

小田原・箱根・上郡合計参加者9名。支部の会長から各市町村での自立支援協議会等の会議に参加しているという報告があり、知的障がい児者の代表として育成会に意見を求められるのは長年に亘る活動が認められたのではと改めて活動の大切さや意味を感じました。まだまだウイルス感染対策が必要な時期でもあり、残念ながら3月に予定していた又村氏の講演会は1年延期となりました。1年後には感染が収まっているのを期待し、将来を見据えてのお話しをして頂けるように準備をしていきます。（小田原支部 城 敏子）



【県央1】 <厚木・秦野・伊勢原・愛川・弘済学園・はだのいんくる>

あつぎ市民交流プラザで参加者10名。まずは支部情報の交換、各支部少しずつ活動を再開している様で、みかん狩り、芋掘り、スポーツ教室、学童では縮小サイズの夏祭り、クリスマス会も計画。父母会に代えてオンライン会議と、少しでも通常を取り戻したい気持ちが伝わりました。

オンラインセミナーはオンラインの環境がなかったりスマホの操作が難しい等が問題のようです。お土産に伊勢原支部事業所「ドリーム」で製造販売を始めたカラフルなポップコーンを頂いてあっという間の2時間、次回の再会を約束し閉会となりました。（厚木支部 風間 陽子）

【県央2】 <大和・海老名・座間・綾瀬・相模原>

オンラインセミナーの開催を受け「保険について」が話題になりました。一人ひとり違う状況の中、どのようにお勧めするか難しいという意見が出ました。又、福祉予算削減という話題については、将来の生活を考え準備しておくことや、親が動ける内に我が子の状況で今気になることは解決しておくことも重要という意見が出ました。今年の活動については、会員行事のみかん狩りや芋掘り、バスツアーや講演会をできる範囲で行っている支部があったり、周年行事の変更をしなくてはいけない支部があったり、殆ど活動できなかった支部と様々でした。（相模原支部 大井 早苗）

【横須賀・三浦】 <鎌倉・逗子・三浦・葉山>

コロナ禍での会議開催を懸念し9月は延期しましたが、今回は人数を制限して4名での初顔合わせとなりました。各支部の活動内容を紹介し、今後協力できることについて話し合いました。その中で、一部の余暇活動や施設見学や勉強会など、今後お互いの支部にも参加を募るなどしてもよいのではという意見が出ました。課題として上がったのは、新規の会員が少ないことや会員の高齢化についてでした。こちらは育成会全体に共通する課題なので、広く意見を伺いながら進めていきたいと思えます。（鎌倉支部 中澤 香）

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容		
病気がケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2020年12月現在の内容です。(D-004960 2022-03)

※毎月1日付で加入できます。2021年度もよろしくお願いたします。

**神奈川県障害者社会参加推進センター
社会参加推進協議会講演会「障がいて何だろう？」**



12月7日理解促進部会事業として知的障害者理解の講演が二宮高校2年生7クラス(272名)に向けて行われました。

このコロナ禍のために広い体育館の中で生徒同士は間隔をあげ、窓やドアは開けっ放しという厳しい寒さの中、みなさんが集中して聞いて下さったのは有難かったです。

内容としては、1コマ50分中最初の20分は、平塚「しんわルネッサンス」職員による知的障害の特徴などの説明、事業所での取り組み、作業内容などの説明でした。次に利用者本人から子どもの頃いじめにあっていた事など話がありました。そのあとの20分で「知的障害体験」を行い、「シングルフォーカスによる過ごしにくさ」「言葉のわかりにくさ」「手先の不器用さ」の体験をして頂きました。後からアンケート結果を頂きましたが「障害の事を知ることが出来てよかった」「言葉かけなど気を付けたい」「応援してあげたい」などの感想を頂き概ね成功したのではないかと思います。ただ「小さい頃に教えて欲しかった」と言う感想もあって、早期に知らせてあげる必要性を感じました。
(協議会委員 福村 幸江)



綾瀬支部

綾瀬市手をつなぐ育成会では、12月10日に映画『道草』上映会を開催しました。

場所は綾瀬市オーエンス文化会館で行い、大変な時期ではありましたが様々な方に足を運んでいただくことができました。上映後のアンケートでは「地域で暮らす障害のある方の笑顔に救われ、親以外の素敵な仲間に見守られることへの期待ができました。」や「重度障害の方も地域で暮らす選択肢があることに感激した。」などといった感想をいただき、開催してよかったと感じました。

映画『道草』の宍戸大裕監督へのインタビューでは「共に生きることって、しんどいこと、つらいことも含めて、一緒に過ごす中で感じることですね。」と話されていました。

コロナ禍という事で、今年度は育成会としてもあまり活動が出来ない状況でしたが、映画上映を通してスタッフの結束力を高められたと思います。心をつないだ素敵な時間を過ごせた上映会でした。
(綾瀬支部 大部 さつき)



一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の会員の皆様へ

手をつなぐがん保険
(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です

特長1

代理手続き
代理告知が可能

障がいのある方向けプラン

特長2

告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向けプラン

特長3

成年後見
費用を補償

障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介します。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]
ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL: 03-6910-0850 FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一部東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126(営業時間:平日9:00~17:00)

2020年6月作成
20-TC01440

箱根支部

箱根支部では、障がい者週間のある12月に、毎年地域交流事業として絵画展とミニコンサートを開催しております。今年度は、11月30日～12月4日に箱根町役場本庁口ビーでの開催です。長年支援員などの経験をされている日向野先生のご指導で、なかなか見応えのある作品が並びました。今年度はコロナ禍で絵画教室も少なかったのですが、会員の楽しみにしている行事となっています。

絵画展期間中の12月1日は、地域の方々との交流イベントでした。

第1部は、絵画ワークショップで牛のイラスト年賀状づくりでした。普段はなかなか出来ない絵手紙のようなものを描くのですが、見本もあり絵の具を前にすると、不思議と味わいのある作品が出来上がっていきました。第2部は、フルートのミニコンサートでした。クラシックや懐かしい映画音楽など、心に沁みる演奏をお楽しみいただきました。当日は、町長や地域の方々にもご来場いただき、私達の今後の活動の励みとなりました。（箱根支部 鈴木 桂子）



* ♪ # ♪ ♪ * ♪ # ♪ ♪ * ♪ # ♪ ♪ * ♪ # ♪ ♪ * ♪ # ♪ ♪ * ♪ # ♪ ♪

相模原支部

11月12日、相模原市民会館大会議室にて、コロナウイルス感染症対策を充分に行いながら、又村あおい氏を講師に迎え会員対象の講演会を開催しました。

テーマは、「障害のある人、ご家族の高齢化と成年後見」、参加者は15名とやや少なめではありましたが、「将来のこと」を考えると避けては通れないテーマに皆さん真剣に耳を傾けていました。

本人だけではなく、支援者もともに高齢化するということを改めて考えるとともに、親の支援が受けられなくなった時のことを想定しておくこと、本人の「お金の流れ」を具体的な数字で現し将来必要になる「お金」を把握して、本人のライフステージに合わせて「今からできること」を準備しておくことが大切だということを感じました。

将来については、漠然と不安を感じていましたが、法的な制度を上手に利用して、具体的なライフステージ、お金の流れを描いてみようと思いました。（相模原支部 大井 早苗）

編集後記

年度初めコロナ禍で活動などできないだろうと思っていました。ところがこれまでで一番活動したような気さえしています。便利なオンラインのお陰ですが高齢者や障がい者にとってはまだ高い壁です。24才の息子は『バックトゥーザフューチャー』が大好きですが映画の中で描かれた未来のいくつかは既に実現されています。遠くない未来、息子のつたない音声をAIが理解し好きな所に自動運転の車で行ける日が来たらと思うと楽天マー君と同じワクワクが止まりません。（鈴木 亜紀子）

未来あんしんサポート

未来あんしんサポート [®] [知的障がい]や[自閉症]等の障がいのあるお子さまのために“親なきあと”をサポートするご提案です

親なきあとのこと... 障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配... この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。 この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのこします
障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活をご心配のことかと思えます。
「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただくためのご提案です。
*生命保険信託の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

お問い合わせはこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
通話料 無料
受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●ジェイアイシーは「個人情報の保護に関する基本方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]
株式会社ジェイアイシー
本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp

[生命保険引受保険会社]
FWD富士生命保険株式会社

[所属信託会社]
みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806